

令和5年度 公益財団法人山梨県スポーツ協会事業報告書

事業報告

事業概要

本協会は、県民のスポーツニーズを的確にとらえ、県民一人ひとりがスポーツに親しめるよう、スポーツの振興を図っていく公益財団法人としての使命を果たすため経営計画や山梨県スポーツ協会スポーツ推進計画に基づき、加盟団体との連携を一層強化しながら「スポーツ協会の運営」、「スポーツの推進」、「利用環境・効率の向上」を三つの柱として次の事業を行った。

事業実施状況

I スポーツ協会の運営

1 理事会、評議員会等の運営

(1) 理事会	第1回(通常)	令和5年 6月 6日(火)
	第2回(通常)	令和5年 8月 4日(金)
	第3回(通常)	令和6年 3月22日(金)
(2) 評議員会	定 時	令和5年 6月23日(金)
	臨 時(書面)	令和5年 8月21日(月)
(3) 総務委員会	第1回	令和5年 5月30日(火)
	第2回	令和5年 7月27日(木)
	第3回	令和6年 3月14日(木)
(4) 加盟団体関係会議		
	市町村体育・スポーツ協会事務局長・事務担当者会議	令和5年 4月13日(木)
	加盟競技団体・学校体育団体理事長会議	令和5年 4月13日(木)

2 事務局の運営

- (1) スポーツ庁が、スポーツ団体における適切な組織運営を行う上での原則・規範として策定した「ガバナンスコード」について、本協会においても適用し、コンプライアンスの強化とガバナンスの確保に取り組んだ。
- (2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。
 - ア 賛助会員の加入募集
 - イ 寄附金(免税寄附金)の募集及び制度の活用促進
- (3) 総合的人材育成システムの運用

「人材育成基本方針」に基づき、職員の資質向上のため、研修会の開催や各種講習会及び資格取得研修への参加等、総合的な人材育成を行うとともに、職員倫理やコンプライアンスの徹底、向上を図った。
- (4) 働き方改革への取り組み

年休5日付与の義務化、就業管理システムによる適正な労働時間の把握、業務の効率化による時間外勤務の削減について引き続き実施した。令和3年4月から適用となった正規職員と非正規職員との休暇制度等の格差を無くすための同一労働同一賃金の働き方改革に取り組み、職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図った。

(公益目的事業)

II スポーツの推進

県民誰もがスポーツに親しみ、活力ある地域社会を実現していくために次のとおり事業を進めた。

1 専門委員会の開催

スポーツの推進を図る上で必要な事項について検討するため、専門委員会を開催した。

(1) スポーツ振興委員会	第1回	令和5年 6月 5日(月)
	第2回	令和5年11月 6日(月)
	第3回	令和6年 3月 4日(月)
(2) 広報委員会	第1回	令和5年 5月19日(金)
	第2回	令和5年11月17日(金)
	第3回	令和6年 3月 1日(金)
(3) スポーツ医・科学委員会	第1回	令和5年 6月 8日(木)
	第2回	令和5年11月 9日(木)
	第3回	令和6年 3月 7日(木)
(4) 境川自転車競技場運営委員会	第1回	令和5年 5月 8日(月)
	第2回	令和6年 3月 6日(水)
(5) スポーツ少年団常任委員会	第1回	令和5年 5月17日(水)
	第2回	令和5年 6月27日(火)
	第3回	令和5年10月24日(火)
	第4回	令和6年 2月27日(火)

2 子どものスポーツ機会の充実

未来を担う子どもたちの健全な発育、発達、育成に資するため「スポーツ少年団組織の育成」と「スポーツの巡回指導(スポーツキャラバン事業)」に取り組んだ。

(1) スポーツ少年団の育成

ア スポーツ少年団組織の活性化

スポーツ少年団組織の活性化を図るため、理念と意義の浸透、指導者養成と資質の向上、幼児加入に対する取り組みについて、内容、方法を検討した。

(ア) 指導者協議会評議員会の開催

令和5年5月12日(金) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室

(イ) アクティブ・チャイルド・プログラムの普及と団活動への浸透

子どもたちが楽しみながらからだを動かすことのできる「アクティブ・チャイルド・プログラム」の普及・浸透を図るため、研修会を開催した。

令和5年7月15日(土) 小瀬スポーツ公園体育館サブアリーナ 参加者24人

(ウ) Mirai Projectの開催

スポーツ少年団の喫緊の課題である団員減少対策及び財源の確保、それに附随した事業の見直しなどを集中的に検討し、スポーツ少年団の普及及び活性化を図ることを目的とした新規プロジェクトを立ち上げ、ミーティングを5回開催した。

イ 団員交流事業の促進

特定の種目に偏らず、様々なスポーツを体験させ運動感覚を養うとともに、野外活動や文

化活動等をとおして創造性や協調性を育むことを目的に、各種大会の開催及び助成を行うとともに、各種中央大会へ団員及び指導者の派遣を行った。

(ア) 県内交流事業

a 第45回山梨県スポーツ少年大会の開催

令和5年7月29日(土)から30日(日)に1泊2日で八ヶ岳少年自然の家において開催した。参加6団団員28人

b 第16回山梨県スポーツ少年団フェスティバルの開催

令和5年4月8日(土)に小瀬スポーツ公園武道館において開催した。参加14団団員151人

c 第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催

軟式野球 令和5年 6月 3日(土)から11日(日)

甲斐市双葉スポーツ公園ほか

バレーボール 令和5年 6月18日(日)から25日(日)

甲斐市敷島体育館ほか

ミニバスケットボール 令和5年 6月11日(日)から25日(日) 鐘山体育館ほか

バドミントン 令和5年 6月11日(日) 甲州市勝沼体育館

空手道 令和5年 5月21日(日) 小瀬スポーツ公園武道館

d 全国スポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催

バレーボール 令和5年11月 5日(日) 笛吹市一宮桃の里体育館

剣道 令和5年11月19日(日) 小瀬スポーツ公園武道館アリーナ

(イ) 県外交流事業

a 第54回関東ブロックスポーツ少年大会への派遣

令和5年9月16日(土)から18日(月・祝) 栃木県
参加指導者・団員なし

b 第61回全国スポーツ少年大会への派遣

令和5年8月 4日(金)から7日(月) 兵庫県
参加指導者・団員なし

c 第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会への派遣 東京都

軟式野球 令和5年 7月16日(日)から17日(月・祝)

バレーボール、ミニバスケットボール、バドミントン、空手道

令和5年 7月29日(土)から30日(日)

d 全国スポーツ少年団競技別交流大会への派遣

第45回 軟式野球 令和5年8月 3日(木)から 6日(日) 千葉県
派遣なし

第46回 剣道 令和6年3月29日(金)から31日(日) 群馬県
派遣指導者1人、団員7人

第21回 バレーボール 令和6年3月28日(木)から31日(日) 宮城県
(女子)派遣指導者2人、団員7人

ウ 市町村スポーツ少年団の組織強化

スポーツ少年団組織の指導体制の強化と組織の資質向上を目指し、その機能を充実させるため、団員交流や単位団の活性化を図った。

(ア) スポーツ少年団市町村役員・職員会議の開催

スポーツ少年団の理念と意義や単位団の活動のあり方等の理解を深めてもらうとともに、山梨県と市町村スポーツ少年団の課題や情報を共有し、連携を強化することで課題等に取り組めるよう会議を開催した。

令和6年2月20日(火) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室

(イ) 県内スポーツ少年団交流事業への助成

県内市町村スポーツ少年団において団員の交流を図る事業を助成した。

(ウ) 県外スポーツ少年団交流事業への助成

近隣の県外団員との交流を促進し、団活動の活発化を図る事業を助成した。

(エ) 全国規模競技大会参加団員への助成

家庭の経済状況によらず、すべてのスポーツ少年団員が全国大会を目指すことができるための参加にかかる交通費及び宿泊費の助成に対する申請がなかったため、助成は行わなかった。

(オ) 指導者育成事業の委託

指導者の資質向上並びに指導者組織の整備拡充を図るための事業を市町村に委託した。

3市(甲府市、南アルプス市、中央市)、3町(昭和町、身延町、市川三郷町)、
1地区(南都留地区)

(2) スポーツの巡回指導

子どもたちが身体活動の持つ楽しさや成功体験を経験することにより、将来的なスポーツへの可能性を広げられる事業として「子どもスポーツキャラバン」を8回実施した。

甲府市石田児童館(4回)、甲府市新紺屋小学校(1回)、山梨市八幡小学校(3回)
合計参加者239人

3 生涯スポーツ活動の推進

競技団体、市町村体育・スポーツ協会や山梨県スポーツ推進委員協議会、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体と連携し、県民一人ひとりが気軽にスポーツに親しむ機会を拡充し提供した。

(1) スポーツ大会の開催

ア 山梨県体育祭り

県民一人ひとりがスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフの創造と地域のスポーツ振興を図り、明るく豊かで活力あるふるさとづくりを目的に開催した。

(ア) 令和5年度実行委員会総会の開催(第76回夏秋季大会・第77回冬季大会)

令和5年4月21日(金) 小瀬スポーツ公園体育館メインアリーナ

(イ) 第76回夏季大会

カヌー競技	令和5年5月28日(日)	精進湖カヌー場
ボート競技	令和5年6月17日(土)	河口湖漕艇場
セーリング競技	令和5年6月18日(日)	山中湖村ヨットハーバー沖
少林寺拳法競技	令和5年7月9日(日)	小瀬スポーツ公園武道館
水泳競技	令和5年8月20日(日)	小瀬スポーツ公園水泳場

参加者671人

(ウ) 第76回秋季大会

組合せ抽選会 令和5年7月26日(水) 小瀬スポーツ公園武道館

陸上競技他43競技

中心会期 令和5年9月16日(土)・17日(日)・24日(日)

会場 小瀬スポーツ公園他35会場 参加者6,893人

総合開会式 令和5年9月16日(土) 小瀬スポーツ公園武道館アリーナ

総合閉会式 令和5年9月24日(日) 小瀬スポーツ公園武道館アリーナ

(エ) 第77回冬季大会

スケート競技(フィギュア)

令和5年11月 3日(金・祝) 小瀬アイスアリーナ 参加者104人

スケート競技(スピード)

令和6年 2月 3日(土) 北杜市八ヶ岳スケートセンター 参加者50人

スキー競技

令和6年 3月17日(日) サンメドウズ清里スキー場 参加者182人

アイスホッケー競技

令和6年 3月30日(土)から31日(日) 小瀬アイスアリーナ 参加者155人

イ 山梨県スポーツ・レクリエーション祭

「第1回全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催を記念して、県民が気軽に参加でき、スポーツ・レクリエーションを楽しみながら、交流を深める場となることを目的に開催した。

(ア) 令和5年度実行委員会総会の開催

令和5年4月 7日(金)

(イ) 第35回山梨県スポーツ・レクリエーション祭

令和5年5月14日(日)、20日(土)、21日(日)、28日(日)

マスターズ陸上競技等19種目 小瀬スポーツ公園他

ウ 第60回山梨県一周駅伝競走大会

スポーツ県やまなし宣言記念事業の一環として、県内各地区の代表チームによる県一周駅伝競走大会を開催し、スポーツの普及啓蒙を図った。

令和5年12月2日(土)から3日(日) 参加18チーム

(2) 参加機会の充実

ア スクールの開催

(ア) スポーツ健康づくり教室

生涯スポーツの必要性及び継続して行うことの大切さを理解してもらえるよう、子どもから高齢者まで男女を問わず、生涯を通じて誰でもスポーツに親しむことができる世代別、目的別に運動をする機会を提供し、サークル活動等による自主的な活動への発展を促し、スポーツライフを支援した。

小瀬スポーツ公園 教室数 79 参加者数 3,826人

富士北麓公園 教室数 25 参加者数 457人

(イ) トレーニング室利用者証の発行・実技指導

a 利用者証の発行

トレーニング室初回利用者を対象に、安全に施設を利用してもらうためトレーニング室の利用説明を行い、利用者証を発行した。

利用者証発行者数 3,776人
受付 随時
発行料 無料(施設利用料別途)

b 体質改善プログラムの提供

運動の効果を客観的に評価・認識できるよう体組成測定器を用い、筋・脂肪割合、体組成成分、メタボリック情報等10項目について評価を行い、それに基づいて適切な運動プログラムを提供した。

実施者数 4,105人
体組成測定 随時
測定料 測定のみ(結果説明、運動アドバイスを含む)200円/人

c 実技指導

利用者の目的に応じたトレーニングメニューを提供するとともに、機器の効果的な使用方法を指導し、トレーニング効果を高めた。

なお、健全な発育発達を考慮し、中学3年生からの利用とした。

実技指導実施者数 17,408人
実技指導 随時
指導料 無料(施設使用料別途)

(ウ) 富士北麓公園フリーウエイトトレーニング室利用講習会

フリーウエイトトレーニング室利用者が、利用基準にしたがって施設を安全により効果的に利用してもらうため、講習会を開催し修了証を発行した。

開催回数 47回 参加者数 49人

(エ) スポーツ体験コーナー

新たにスポーツをするきっかけを創出するため、山梨県レクリエーション協会及びヴァンフォーレ甲府と連携し、定期的に無料で軽スポーツやニュースポーツ等を体験できる「スポーツ体験コーナー」を6回開催した。

令和5年 5月 3日(水・祝) ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム 「こどもあそび広場」
令和5年 8月 6日(日) ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム
「軽スポーツ体験&体力測定ブース」
令和5年 9月19日(火) 3x3フェスティバル(バスケット)「軽スポーツ体験コーナー」
令和5年11月19日(日) 県民の日記念事業 「軽スポーツ体験」及び「足型測定ブース」と県内のスポーツ少年団や総合型スポーツクラブの紹介ブース
令和6年 3月16日(土) 公園内芝生広場 軽スポーツ「モルック」の体験ブース
令和6年 3月30日(土) 桜まつりに合わせ 「キッズプレイパーク」

イ フェスティバルの開催

各年齢層に応じたスポーツを楽しむ機会やふれあいの場を提供し、スポーツの楽しさと爽快感を体験するとともに、スポーツへの興味や関心を高め、スポーツを実践する動機づけとなるような大会・イベントを開催した。

小瀬スポーツ公園	実施イベント日数	10日	参加者数	2,633人
富士北麓公園	実施イベント日数	5日	参加者数	601人

ウ セミナーの開催

(ア) スポーツ医・科学セミナー

国体強化選手、指導者及びスポーツ愛好者等を対象に、スポーツ医・科学委員会と連携し、健康の保持増進や体力づくり、競技力の向上等を目的としたスポーツ医学やスポーツ科学のセミナーを開催した。

令和5年12月17日(日) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室

講演Ⅰ「スポーツパフォーマンスを支える“ばね能力”の理論と実践」

講演Ⅱ「体力側面からスポーツパフォーマンスを捉える」

参加者 国体実施競技監督・コーチ、部活動指導者、選手等31人

(イ) 健康・体力づくりセミナー

スポーツを愛好している一般の人たちを対象に、身近なスポーツの技術・技能の紹介や健康・体力づくりの基礎的な知識を提供するセミナーを開催した。

令和6年3月23日(土)「シニアウォーキングセミナー」

JITリサイクルインクスタジアム

講師：山梨学院大学スポーツ科学部教授 上田 誠仁 氏

(3) プロスポーツ・イベントの誘致・開催

ア プロスポーツ・イベントの積極的な誘致とトップアスリートを招聘したスポーツイベントの開催「みるスポーツ」の推進として、管理運営施設である小瀬スポーツ公園体育館サブアリーナを使用して「山梨プロレス祭り」を5回誘致し、多くの県民にスポーツへの興味を持っていただける機会を提供した。

(4) 地域スポーツの活動への支援

ア 高齢者向け体力測定

活力ある超高齢化社会を目指し、高齢者関係機関・団体に出向き、身体運動の基本となる歩行能力評価と運動指導をセットにした運動プログラムを計画したが参加希望がなく実施しなかった。

イ 指導者派遣

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動を支援するため、要望に応じ指導者を派遣し、健康・体力づくりの指導を行った。

指導者派遣 44回 参加者数 781人

ウ 軽スポーツ用具の貸出

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動に対して、軽スポーツ用具の貸し出しを行った。

小瀬スポーツ公園 貸出回数 203回 延利用者数 11,638人

富士北麓公園 貸出回数 11回 延利用者数 177人

(5) 障がい者スポーツの推進

専門的知識やノウハウ等の情報を有する山梨県障害者スポーツ協会のほか、各専門関係団体と連携し、障がい者と健常者が共に参加できるイベントとして、3x3ストリートバスケットボール大会を計画し開催したが、今年度は障がい者(車いす部門)の参加は無かった。

また、8月19日にヴァンフォーレ甲府、山梨県障害者スポーツ協会との共催事業を準備したが急な雷雨により中止とした。

4 競技スポーツの推進

(1) 競技力の向上

本県選手が国民体育大会や各種大会等において優秀な成績を収めることができるよう競技力の向上を図るとともに、県民のスポーツへの関心を高め、本県スポーツの発展を期するため、各種会議を開催するとともに、各種事業を行った。

ア 競技力向上対策本部の運営

(ア) 本部会議(年4回)

- 第1回 令和5年 6月15日(木) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
- 第2回 令和5年 9月 7日(木) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
- 第3回 令和5年11月 2日(木) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
- 第4回 令和6年 2月29日(木) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室

(イ) 理事長、事務局長、主任強化コーチ会議(年3回)

国体出場競技団体の理事長、事務局長、主任強化コーチ等に対し、競技力向上に関する説明会や研修会を実施した。

- 第1回 令和5年 5月16日(火) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
- 第2回 令和5年11月14日(火) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室
- 第3回 令和6年 3月 5日(火) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室

(ウ) 競技団体個別会議

対策本部委員と競技団体競技力担当者が面談を行い、今後の課題、方針等の意見交換を行った。

令和6年2月5日(月)、15日(木)、16日(金)、19日(月)

小瀬スポーツ公園武道館研修室

イ 競技団体等への支援

(ア) 競技団体選手強化事業

国民体育大会に向けて、候補選手(指導者を含む)を対象とした強化事業に対し助成した。また、強化事業においては、スポーツトレーナーの帯同に要する経費の一部を補助した。

(イ) 成年チーム指定強化事業

a 重点チーム強化

国民体育大会において優秀な成績を収めるため、重点強化チーム9チームを指定し、強化事業に対し補助した。

b 指定チーム強化

成年選手の競技力の維持向上を目指して、大学・企業・クラブチーム13チームを指定し、強化事業に対し補助した。

(ウ) 海外派遣奨励金の交付

日本代表として世界選手権等の大会に海外派遣される個人・団体に対し奨励金を交付した。

個人13人

(エ) 競技団体等主催大会等助成事業

関東大会・東日本大会・全国大会及び国際大会等の開催や本県選手の出場、活躍は本県スポーツの振興に大きく寄与するため、本県開催の関東規模以上の大会に対し

助成した。

全国大会規模2大会、関東大会規模8大会

(オ) 練習場確保事業

県立射撃場の整備凍結に伴う競技団体の練習場確保事業に対し補助した。

ウ 2巡目国体を見据えた競技力強化

昭和61年のかいじ国体以来2巡目となる本県開催での国体を令和14年に見据え、選手の発掘・育成事業に対し補助した。

(ア) ターゲットエイジ発掘事業

各競技団体が競技の普及や選手発掘を目的に小学生から中学生を対象とした個別発掘事業に対し補助した。

(イ) ターゲットエイジ育成事業

国体正式競技である41競技において発掘したターゲットエイジを対象に技術向上のための練習会に対し補助した。また、国体に近年導入された新種目及び女子選手の強化が必要な競技を定め、重点強化する事業に対し補助した。

(ウ) 指導者養成事業

国民体育大会の監督資格となる指導者資格保有者を確保するため、資格取得に係る経費の一部を補助した。

エ 国民体育大会選手等の選定及び派遣

予選会を実施し、選手の選考を経て、本県選手団を派遣した。

(ア) 特別国民体育大会関東ブロック大会

令和5年6月3日(土)から8月28日(月) 埼玉県

本部役員9人、監督・選手683人

(イ) 特別国民体育大会

会期前実施競技 (水泳・ローイング・ビーチバレー・体操・レスリング・ゴルフ)

令和5年 9月16日(土)から24日(日) 鹿児島県

本大会 令和5年10月 7日(土)から10月17日(火) 鹿児島県

<開会式> 令和5年10月 7日(土)

<閉会式> 令和5年10月17日(火)

本部役員28人、監督・選手308人

(ウ) 第78回国民スポーツ大会

冬季大会関東ブロック大会 (アイスホッケー)

令和5年12月 8日(金)から10日(日)(成年男子) 埼玉県

令和5年12月15日(金)から17日(日)(少年男子) 埼玉県

監督・選手38人

冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

令和6年1月27日(土)から2月3日(土) 北海道

本部役員8人、監督・選手42人

冬季大会スキー競技会

令和6年2月21日(水)から24日(土) 山形県

本部役員6人、監督・選手28人

(エ) 日本スポーツマスターズ2023への派遣

福井県

令和5年8月26日(土)から27日(日)(水泳)
令和5年9月 2日(土)から 4日(月)(空手道)
令和5年9月 6日(水)から 8日(金)(ゴルフ)
令和5年9月 8日(金)から10日(日)(自転車)
令和5年9月15日(金)から19日(火)(中心会期)

オ 医・科学サポート

(ア) 医学的サポート

国民体育大会に参加する選手(含:関東ブロック大会)から提出された健康調査票を
基に、メディカルチェックを実施し、選手の健康管理を行った。

(イ) 科学的サポート

栄養関係の分野について、国民体育大会参加競技団体を対象に指導・助言を行っ
た。

栄養的分野 令和5年12月2日(土) 山梨学院大学

参加者 ホッケー少年男子チーム監督、選手、保護者 55人

(ウ) 国民体育大会へのスポーツドクター、アスレティックトレーナーの帯同

国民体育大会参加時にスポーツドクター並びにアスレティックトレーナーを帯同させ、
選手の緊急医療時の対応やドーピング関係薬物の対応を行った。

特別国民体育大会

会期前実施競技 スポーツドクター2人

本大会 スポーツドクター3人

アスレティックトレーナー3人

第78回国民スポーツ大会

冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 スポーツドクター2人

冬季大会スキー競技会 スポーツドクター1人

(2) 国民スポーツ大会の開催

(ア) 令和14年の第86回国民スポーツ大会(第78回大会から国民体育大会から国民スポ
ーツ大会に名称変更)の本県招致に向けて、令和5年6月13日(火)に本協会の高野剛
会長が、山梨県知事、山梨県議会議長及び山梨県教育長に対し、本協会加盟85団体
の招致同意書を添えて要望書を提出した。

令和5年6月20日(火)の山梨県議会定例会で知事が招致の意向を表明し、令和5年
7月6日(木)の山梨県議会定例会で招致について議決された。

令和5年7月18日(火)、同大会の開催要望書を文部科学大臣及び日本スポーツ協会
会長あて提出した。

令和5年8月24日(木)開催の日本スポーツ協会第2回国民スポーツ大会委員会にお
いて、本県が令和14年に開催される第86回国民スポーツ大会の「開催申請書提出順序
了解県」として承認(内々定)された。

令和5年11月20日(月)、「第86回国民スポーツ大会・第31回全国障害者スポーツ
大会山梨県準備委員会」が設立された。

大会の開催に向けて、本協会では競技力向上対策本部を中心に山梨県や各競技団
体などと連携協働し、オール山梨で取り組んでいく。

5 スポーツ環境の整備

(1) 人材の養成

ア 子どものための人材養成

(ア) スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

地域における単位団活動の中心的指導者を養成するスタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を開催した。

第1回 令和5年 8月20日(日) 小瀬体育館サブアリーナ 参加者40人

第2回 令和5年10月 9日(月・祝) 小瀬武道館第1会議室 参加者61人

第3回 令和5年12月24日(日) 小瀬体育館サブアリーナ 参加者61人

(イ) スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター研修会

スポーツ少年団の指導者の養成を行うスタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の講師を務めるスタートコーチインストラクター等のスキルアップを目的に研修会を開催した。

令和5年 8月20日(日) 小瀬体育館サブアリーナ 参加者7人

(ウ) スポーツ少年団指導者研修会

指導者等の資質向上と指導者相互の連帯を図るため、研修会を開催した。

令和5年12月 9日(土) 小瀬武道館第1会議室 参加者75人

(エ) 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図るための研究協議会に参加した。

令和5年11月 4日(土)から5日(日) 埼玉県 参加者4人

(オ) スポーツ少年団リーダーの養成

リーダー会の育成や指導者協議会との連携により、将来の指導者を養成するとともに、少年団の円滑な活動の推進を図った。

a ジュニア・リーダースクールの開催

単位団において、団員の模範となって活動するジュニアリーダーを養成した。

令和5年11月25日(土)から26日(日) 緑が丘スポーツ公園

参加団員11人

b シニア・リーダー研修会

中学生以上で、シニア・リーダー資格取得に意欲のある団員を集め、資質向上のための研修を開催した。

令和6年 2月17日(土)

小瀬スポーツ公園体育館

参加団員4人

c 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団リーダーの相互の連携と資質の向上を図るための研究大会へ派遣した。

令和5年10月21日(土)から22日(日) 茨城県

参加指導者1人、団員3人

d リーダーの派遣

日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール

令和5年 8月9日(水)から12日(土)

静岡県

参加団員なし

全国スポーツ少年団リーダー連絡会

令和5年11月12日(日)

オンライン開催

参加指導者1人、団員1人

e 山梨県スポーツ少年団リーダー会への助成

組織の強化充実並びに運営経費を助成した。

イ 生涯スポーツのための人材養成

(ア) コーチングアシスタント養成講習会

地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等でのコーチングスタッフとして、基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供することができる指導者を養成する講習会を開催した。

令和5年12月10日(日)

小瀬体育館研修室 参加者31人

(イ) 公認コーチ1養成講習会

地域において、子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々の指導対象に合わせた指導が可能となる指導者を養成する講習会を開催した。

実施競技:ソフトテニス 参加者25人、バレーボール 参加者34人、
軟式野球、バドミントン、弓道、 中止

(ウ) スポーツドクターの確保

スポーツ医・科学委員会との連携と医師の協力のもと、スポーツドクターの確保のため、日本スポーツ協会開催の養成講習会へ3人の推薦を行った。

(エ) アスレティックトレーナーの確保

スポーツ医・科学委員会及び競技団体と連携を図り、アスレティックトレーナーの確保のため、日本スポーツ協会開催の養成講習会へ1人の推薦を行った。

(オ) スポーツ指導者研修会の開催

公認スポーツ指導者の資質の向上と活動促進、指導者の連帯感を深めるため、研修会を開催した。

第1回 令和5年 6月24日(土)

小瀬武道館アリーナ 参加者215人

第2回 令和5年 9月 9日(土)

笛吹市八代総合会館 参加者 38人

第3回 令和6年 1月20日(土)

オンライン開催 参加者 80人

(カ) 山梨県スポーツ指導者協議会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成した。

(2) スポーツ拠点の充実

ア 地域スポーツの充実

(ア) スポーツ振興ブロック会議

スポーツの振興に関し、各地域の市町村のスポーツ関係者と地域の課題等について意見交換を行い、推進強化を図った。

情報提供 :「部活動の地域移行」の背景や目的及び地域スポーツの現状や課題等について

研究協議テーマ:「地域を築く新しいスポーツの力」～中学校の部活動の地域移行～

富士・東部地区 令和5年 6月21日(水)

都留市民総合体育館

参加者62人

峡東地区

令和5年 6月22日(木)

甲州市民文化会館

参加者59人

中北地区	令和5年 6月26日(月)	小瀬スポーツ公園体育館	参加者85人
峡南地区	令和5年 6月28日(水)	市川三郷町生涯学習センター	参加者60人

(イ) 山梨県スポーツ推進委員協議会との連携

各地域の県民がスポーツの生活習慣化できるような魅力ある事業を展開し、スポーツ拠点を拡充できるよう、山梨県スポーツ推進委員協議会との連携を図った。

(ウ) 山梨県スポーツ指導者協議会との連携

地域スポーツの振興及びスポーツの環境を整備するため、指導者の確保及び資質の向上を図るとともに、指導者が各地域で活動できるよう、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者の資格者が組織する山梨県スポーツ指導者協議会と連携して取り組んだ。

(エ) 大学・企業との連携

県内大学・民間団体との連携を強化し、共催事業等を展開することにより、民間の持つノウハウ又はネットワーク等を活用した事業展開を行った。

a 山梨学院大学との連携

包括連携協定を締結している山梨学院大学との強固な協力関係のもと、有識者の派遣を受けるなどして、「スポーツで山梨の未来を創造する」各種事業に取り組んだ。

b アミューズとの連携

スポーツを通じた地域連携・貢献、スポーツ推進のきっかけづくりを目的に、アミューズと連携し「アドベンチャーサミット」を富士北麓公園において開催した。

(オ) 山梨ことぶき勸学院との連携

高齢者の健康体力づくりのために、「山梨ことぶき勸学院」の5つの地域教室の生徒を対象に有資格者による運動指導を行った。

(カ) スポーツエンジンとの連携

管理受託しているスポーツ施設の魅力と、本協会オリジナルの運動プログラムをパッケージとして、スポーツエンジンが富士北麓公園に誘致した東京都の「子供を笑顔にするプロジェクト」を実施。「富士北麓 CHALLENGE DAY」に東京都内の中学校1校、高校1校が参加した。

第1回目：令和5年10月3日(火) 高校2年生 188人

第2回目：令和6年 3月8日(金) 中学3年生 191人

イ 総合型地域スポーツクラブの育成・登録・認証

(ア) 広域スポーツセンターの運営

山梨県が設置した広域スポーツセンターを運営し、総合型地域スポーツクラブの創設や持続可能な運営及びスポーツ活動ができるよう効率的に支援するとともに、助言・指導及び地域クラブ活動(中学部活動の地域移行)の情報共有を行った。

総合型クラブ情報交換会

第1回 令和5年 7月 4日(火) 小瀬スポーツ公園武道館

第2回 令和5年 9月19日(火) 小瀬スポーツ公園武道館

第3回 令和6年 2月27日(火) 小瀬スポーツ公園武道館

また、日本スポーツ協会の「地域スポーツ推進体制基盤強化事業」を活用し、次の事業を行った。

a 健康運動プログラム 指導実践研修会

楽しく身体を動かしながら運動・スポーツを地域住民に提供できるよう指導者の資質向上を図ることを目的に研修会を開催した。

令和5年 9月30日(土) 市川三郷町生涯学習センター 参加者17人

令和5年10月21日(土) 富士河口湖町町民体育館 参加者16人

b 周知チラシの作成及び配布

総合型地域スポーツクラブの認知度の向上を図るため、総合型クラブ自体の周知やイベントの周知チラシを作成し、令和5年11月19日(日)に小瀬スポーツ公園で開催された県民の記念行事において、来園者200組に配布した。

(イ) 総合型地域スポーツクラブの育成

山梨県と連携し、クラブアドバイザーとともに県内各市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブの状況把握を行い、地域に根差し持続可能な活動ができるよう運営の助言及び指導を行った。また、行政に対し、総合型地域スポーツクラブが持続可能な活動ができるよう登録・認証制度について理解を求め、支援及び活用について依頼を行うとともに、認知度向上のための協力をお願いした。

(ウ) 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用

令和5年度は、31クラブ中、令和4年度に申請した13クラブと令和5年度に申請した2クラブを合わせ15クラブが予備登録クラブとして認定された。

a 総合型スポーツクラブ登録審査会

令和5年度登録分

書類審査 令和5年 8月24日(木) 小瀬スポーツ公園武道館

実地審査 令和5年 9月 2日(土) 白根B&G海洋センターほか

令和6年度登録分

書類審査 令和5年12月12日(火) 小瀬スポーツ公園武道館

実地審査 令和6年 1月11日(木) 敷島小学校

令和6年 1月17日(水) 竜王南小学校

令和6年 1月20日(土) 境川体育館

b 総合型スポーツクラブ登録部会

令和5年度登録分 令和5年 9月21日(木) 小瀬スポーツ公園武道館

令和6年度登録分 令和6年 2月13日(火) 昭和町押原公園

(エ) 公認アシスタントマネジャー養成講習会の開催

クラブ運営のための諸活動をサポートするアシスタントマネジャーの資格取得ができる公認アシスタントマネジャー養成講習会を開催した。

令和5年8月5日(土)、11日(金・祝)、12日(土) 小瀬スポーツ公園武道館

参加者 7人

(オ) やまなし総合型クラブ交流イベントの開催

クラブ相互の交流と認知度アップを図るとともに、広く県民に参加を呼びかけ、スポーツ実施率の向上を促す契機とするイベントを開催した。

令和5年11月23日(水・祝) 小瀬スポーツ公園武道館アリーナ 参加者45人

(カ) 総合型地域スポーツクラブ山梨への助成

総合型クラブ交流事業の実施及び組織の強化充実の運営経費を助成した。

ウ 管理施設の環境充実

本協会が管理している施設を県民に親しんでもらえるようサービスの向上や安全・安心に利用していただけるよう営業形態や環境整備に取り組んだ。

さらに、快適な利用のために、日々の施設の環境整備、備品の点検、AEDの設置や職員の救急救命法の研修などを実施した。

(ア) 管理受託施設・利用人数

a 小瀬スポーツ公園	503,693人(前年度514,535人)
b 富士北麓公園	121,011人(前年度115,542人)
c 緑が丘スポーツ公園	141,648人(前年度115,150人)
d 八代射撃場	954人(前年度 919人)

(イ) 直営施設

a 境川自転車競技場	9,557人(前年度 9,239人)
------------	--------------------

(3) スポーツの啓発

ア スポーツ情報発信

(ア) インターネットの活用

- ・インターネットを活用し、管理施設の情報、スポーツ教室やイベントの紹介を行った。
- ・やまなしスポーツ情報ネット内にシステム化されている「スポーツ指導者バンク」の運営を行い、スポーツ指導者の登録、紹介を行った。
- ・やまなしスポーツ情報ネットのスポーツ新着情報等の更新を行うとともに、市町村のスポーツ情報が確認できるよう各市町村のスポーツ情報のホームページにリンクするページを設けた。
- ・SNSの活用としてInstagramを用い、国民体育大会の情報発信をはじめ、本協会の各種事業の告知や施設管理情報を県民へ発信した。また、拡散力の強いXも活用し、施設利用者の更なる獲得及び利用促進を図った。

(イ) 広報誌の活用

- ・情報交換と提供の場として、スポーツ協会広報誌「スポーツやまなし」とスポーツ少年団広報誌「わかば」を発行した。
- ・各管理施設における情報や健康増進情報等を掲載した広報誌「Lively小瀬」、「Lively北麓」を毎月発刊した。

(ウ) スポーツ絵画・写真コンクールの開催

スポーツの絵画・写真を通して、スポーツへの関心を高めるとともに、県民のスポーツに対する意識の向上を図った。 応募点数 絵画144点 写真30点

イ 各種表彰

(ア) スポーツ協会表彰

体育・スポーツに尽力された体育功労者に対し、その活動への感謝と功績を讃えるため表彰を行った。

また、全国大会や世界大会に出場し優秀な成績を収めた県内選手・指導者に対し、その功績と今後の活躍を期待して表彰を行った。

体育功労者73人、特別優秀選手3人、優秀選手・団体62人8チーム、奨励賞8人1チーム

(イ) スポーツ少年団表彰

永年に亘り、団活動を活発に行い他の模範となるような単位団並びに団活動に尽力し、その功績が顕著な指導者に対して表彰を行った。

優良単位団1団、優秀指導者2人

(4) スポーツサポーター活動の推進

一般県民の方が本協会事業に「本協会の一員として同じ目標・理念を共有し活動に参加していただくことによりスポーツを支える」スポーツサポーターとしてボランティア参加していただける方策を打ち立て、これを長期にわたり安定した運営が行えるよう体制づくりを検討した。

6 国際スポーツ交流の推進

(1) スポーツ少年団のスポーツ交流

ア 日独スポーツ少年団同時交流

日独の友好と親善を深め、国際的能力を高めるとともに、スポーツ少年団の発展に寄与するため、両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流を行った。

受入事業 令和5年 8月 5日(土)から 8月 9日(水) 山梨県及び笛吹市

(2) 競技スポーツ交流

ア 日中スポーツ交流

日中両国政府により実施された2007「日中文化・スポーツ交流年」を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を1団体で実施する計画を申請したが、不採択となり実施できなかった。

イ 日韓スポーツ交流

2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催決定を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を2団体で実施する計画を申請したが、不採択となり実施できなかった。

7 安心してスポーツに取り組めるスポーツ環境の推進

(1) クリーンでフェアなスポーツの推進

ア フェアプレイの推進

スポーツを真に楽しく行う上では欠かせないフェアプレイを推進するため、日本スポーツ協会の「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン運動を推進し、「フェアプレイニュース」の掲示や、主催イベントの要項等へのキャンペーンロゴの掲載等、スポーツ活動のあらゆる場面で協力及び実践の呼びかけを行った。

イ スポーツ・インテグリティ(誠実性・高潔性)の確保

スポーツ団体における「コンプライアンス(法令順守)」の強化と「ガバナンス(組織統治)」の構築のため、ガバナンスコードの順守に努めるとともに、日本スポーツ協会の加盟団体規程に基づき、各種規程等の再整備に取り組んだ。加盟団体にもガバナンスコードの順守を促した。

ウ ハラスメントの撲滅

選手同士また選手と指導者がお互いを信頼してスポーツを行えるように、いじめや暴力・暴言、セクハラ等、これまでの指導方法の中に起こりうるハラスメントについて注意喚起を行うとともに、日本スポーツ協会が取り組んだ「No! スポハラ」運動に賛同するとともに年度当初

の加盟団体会議や研修会等において注意喚起を行った。

また、スポーツにおける暴力行為等に関する相談及び問い合わせに対応するために設置した相談窓口を運営した。

相談件数2件

エ アンチ・ドーピングの啓発

(ア) アンチ・ドーピング講習会

薬物乱用、誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進するため、講習会を開催した。

第1回 令和5年 6月22日(木) 小瀬武道館第1会議室 参加者9競技32人

第2回 令和5年 7月 8日(土) オンライン開催 参加者9競技78人

(イ) 競技別アンチ・ドーピング講習会の開催

選手が多く集まる練習会や合宿に出向き講習を行った。

令和5年 7月17日(月・祝) 山中湖村公民館

セーリング競技 参加指導者、選手、保護者24人

オ スポーツ仲裁自動応諾条項採択の周知・促進

スポーツ関係団体が、スポーツに関するルールの透明性を高め、健全なスポーツの発展に寄与していく組織づくりの機会になるよう、日本スポーツ仲裁機構の仲裁自動応諾の採択を加盟団体に対して働きかけた。

(2) 補償制度の推進

ア スポーツ安全保険の加入促進

関係スポーツ団体に対し、団体活動中に発生する怪我や損害等に備え、安心してスポーツが行えるようスポーツ安全保険への加入を促進した。

イ スポーツ傷害見舞金の周知

スポーツ大会等に参加した選手等で負傷又は死亡した者に対し見舞金の給付を行った。 給付実績 負傷 1件

ウ 主催者賠償責任保険への継続加入

主催事業で損害賠償事故が起きた場合に補償できる体制を整えるため、主催者賠償責任保険へ継続加入した。

(収益事業等)

Ⅲ 利用環境・効率の向上

1 各種サービス事業

(1) レストラン・売店等の運営

公園来園者に対する飲食等の便宜供与のため、体育館レストラン・売店における飲食の提供、物品の販売を行うとともに、スケート靴等の貸し出しに係る斡旋業務を行いスポーツの普及支援の担い手として事業を展開した。

ア レストラン(カフェ)の運営

来園者へ飲食等を提供するため、専門業者「WORLD CAFE小瀬スポーツ公園店」へ今年度から新たに委託し運営した。

・営業時間 午前10時から午後6時まで

※通常は火曜休業(祝日の場合は営業)

- ・販売品目 パニーノサンド、ピザ、クロッフル、サラダ、コーヒーなど常時約62品目
- ・営業日数 209日／年（前年度実績 260日／年）

※7/25 オープンの為、4/1～7/24 は改修工事期間であった。

イ 売店の運営

イベントや大規模大会等の開催時に売店を開設し、飲食物の販売を行う他、各施設の受付においてスポーツ用具（テニスラケット他）の貸出、テニスボール等の販売等施設利用者のニーズに応えた売店運営を行った。

- ・販売品目

臨時売店：焼きそば、からあげ、かき氷、飲料等93品目の販売

受付販売：バスケットボール等の貸出、テニスボール等の販売

ウ 自動販売機の設置

管理施設内に自動販売機を設置し、清涼飲料水・乳飲料・アイスクリーム及び菓子類等の販売を行った。

- ・自動販売機の設置台数

小瀬スポーツ公園 42台（プール開放期間中は追加）

緑が丘スポーツ公園 9台

富士北麓公園 7台

境川自転車競技場 2台

八代射撃場 1台

エ スケート靴の斡旋

小瀬アイスアリーナにおいて、利用者にスケート靴の貸し出し業務を行った。

- ・貸靴種目 フィギュア他3種 約800足

- ・貸出実績 小瀬アイスアリーナ 個人9,926足／年（前年度実績9,482足／年）
団体4,304足／年（前年度実績4,932足／年）

オ ジョギングハウスの活用

ウォーキングやジョギングで小瀬スポーツ公園を訪れた方々が、気軽にトレーニングも行えるよう、ジョギングハウス内に容易に扱え、安全性が高いトレーニング器具を設置し、無料で開放することで小瀬スポーツ公園の利用促進を図った。

カ 施設利用者への還元事業の実施

施設の利用促進と、日頃からの施設利用者に対する還元事業として、各種イベントを企画し利用者が楽しめる施設運営を行った。

- ・クリスマス、バレンタイン、ホワイトデー企画（利用者へプレゼント配布）

キ 福利厚生事業の支援

職員が安心して働ける職場づくりの推進を図るため、職員互助会の諸事業に対し支援を行った。

2 利用効率の向上

(1) 管理施設の有効活用

本協会が管理する各施設の利用効率向上のため、公益目的（スポーツ）以外の利用についても、サービスの向上と利用促進に努め施設の有効活用を図った。